

改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一
首藤 孝治・牧田 俊之



越川慶一議員



一般質問動画

【コロナ禍での財政状況は】 市税収入の減少が見込まれるため財政見通しを質問し「税収は1年間で約1億2千万円の減収を想定しますが、新たに設けられた徴収猶予特例債の借り入れも可能であり今年度の歳入への影響は少ない」との答弁がありました。

【避難所運営マニュアルに感染症対策を】 令和2年3月に改訂されたマニュアルに感染症対策の記載がないことを指摘し「5月に改訂された北海道の内容も踏まえ適宜修正する」との答弁がありました。

【児童生徒1人1台のタブレット端末導入を】 改めてタブレット端末の早急な配備を提案し「この機会に家庭に貸し出しを前提としたタブレット端末の配備を検討しており、校内通信ネットワーク整備とともに今年度中の導入を目指し、今後補正予算要求を行う予定」との前の向きな答弁がありました。



牧田俊之議員



一般質問動画

【公共交通運行支援】 コロナ感染症対策外出自粛要請で市内公共交通事業者も経営状態が悪化しており、国の2次補正を確認しまずは、感染防止対策を進め事業者と協議を行い利便性・サービス向上に努めたいとの答弁がありました。

【学生通学定期払い戻しを】 学校休業による通学定期払い戻しについて、市にも7件問い合わせがあれど、土日祝日の乗車も可能なことからコロナウイルスの影響による特例対応はしないことを確認しているとの答弁がありました。

【市内の経済復興を】 市内飲食店事業者が深刻な状況であり、地域経済が回復するためにも市内飲食店の活用を促すことは必要だが、市から企業への呼びかけをするのは難しく、「新北海道スタイル」については、周知について検討していくとの答弁がありました。



松井雅宏議員



6月11日 議案動画

【指定管理施設への休業補償】 新型コロナウイルス感染症防止対策の休館要請に応じた指定管理者に対する休業補償について、利用再開後も市民サービスの低下を招かず、安定的な施設運営を継続していただくとの観点から、今回の補正予算の妥当性および4月以降の補償支給の考え方を質疑しました。

【通学バスでの3密対策を】 通常登校再開後の市内高校通学バスにおいて、過密状態があることを指摘し、通学バスの現況調査の実施と一時的に観光バスを手配し3密を回避する対応を求め、調査するとの答弁がありました。

【先端設備の導入】 苫小牧テクノセンターに北日本で唯一導入される「超微細四次元X線CT解析装置」について、アフターコロナの地域ものづくり産業に弾みをつけるといふ観点から提案を交えて質疑を交わしました。



首藤孝治議員



6月12日 議案動画

【中小事業者持続化支援事業の支給要件緩和を】 中小事業者へ幅広くかつ早急に支援するための事業であるが、支給要件が厳しいことを指摘し、今後の支給要件緩和を要望しました。

【氷上の甲子園の代替大会開催を】 毎年8月に開催される氷上の甲子園（全国高等学校選抜アイスホッケー大会）が中止となる補正予算を受け、アイスホッケーを含む各種スポーツ競技の大会について市長杯等の代替大会を検討するよう要望しました。

【エンターテインメント関連事業者への助成拡大を】 新型コロナウイルスの影響は、ライブハウスや劇場、イベント企画運営、機材のレンタル、舞台・音響・照明などエンターテインメント関連の事業者も多岐にわたり大きな打撃を受けているため市独自の追加助成拡大を要望しました。